

山口県助産師職能委員会 研修報告

平成 28 年 8 月 6 日(土)、山口県立総合医療センター 不妊症看護認定看護師 時乗敦子先生、認定遺伝カウンセラー 中西真美先生を講師にお招きし、第 2 回中堅助産師研修「助産倫理・不妊症」が開催されました。参加者は、18 名でした。

午前中は、**1.倫理とは** **2.助産師の倫理綱領** **3.不妊症看護分野より 第三者の関わる生殖医療**について大変解りやすく説明して頂きました。生命倫理の**4原則**、「**自律尊重の原則**」「**無危害原則**」「**善行原則**」「**正義原則**」を常に念頭に入れ、事実確認、その事実の認識・価値観を確認し、専門職として何が良いことかを探求していかなければならないと痛感しました。倫理には正解がないため、自分の価値観や相手の価値観を認め大事にしなければならないという言葉が印象的でした。



午後は、**1.遺伝カウンセリング**について **2.認定遺伝カウンセラー**について **3.NIPT (無侵襲的出生前遺伝学的検査)**についてご講義頂き、最後に事例を元にグループ・ディスカッション、発表を行いました。カップルが、胎児に染色体異常があった場合に妊娠継続を選択することも、人工妊娠中絶を選択することも、どちらも勇気のいる決断であるので、私達助産師が専門職業人として寄り添いフォローしていかなければならないと切に思いました。日頃、助産倫理についての研修の機会は少ないため、大変実りのある 1 日でした。

